

「第26回いわてユネスコ賞」受賞者・団体一覧

令和3年10月20日
岩手県ユネスコ連絡協議会

表彰区分	受賞者・団体	活 動 内 容
科学賞 3件	・一関市立室根西小学校	【水生生物調査活動】 津谷川の清流を守ろうと旧津谷川、上折壁、釘子の3校が1985年から水質や水生生物の調査に取り組んできた。3校統合後は室根西小が継続し、今年は川の水質判定も実施し県に報告した。植樹活動、サケの採卵体験や稚魚の放流、養殖施設見学も行っている。
	・一戸南小学校 御所野愛護少年団	【御所野縄文公園の調査と発表活動】 平成11年に御所野愛護少年団が結成され、御所野縄文公園の縄文人の暮らしに関し土屋根の効果・植物活用の効果・土器や道具について理解を深める調査・実験を行ってきた。活動成果は一戸町教育委員会主催の調査成果発表会や今年年3月の「北海道・北東北の縄文遺跡」世界遺産登録推進フォーラムで発表している。
	・岩手県立盛岡第一高等学校生物部	【河川上流部の底生動物による総合的な環境の評価法】 本校生物部では、2016年に盛岡市内の河川の底生動物相の調査を実施した。翌年北上高地の源流部で調査、「源流指数」を提案。2019年に奥羽山脈の河川を調査し「温泉環境指数」を提案した。2020年には、両指数を統合し「溪流指数」を考案、県内各地の文献から260か所のデータを解析し汎用性があることが確認できた。
文化賞 2件	・遠野市立小友小学校	【子ども語り部活動】 平成21年から子ども語り部の活動を始めた。令和2年度まで119人の児童が遠野文化研究センターの「語り部1000人プロジェクト」の「子ども語り部」の認定認定を受けている。学習の成果は地域づくり推進大会など様々な場面で披露している。
	・岩手県立黒沢尻北高等学校写真部	【フォトコンテストを中心とした活動】 写真部は昭和27年、黒沢尻高等学校時代に同好会として発足。平成20年代に入り、岩手県高総文祭や岩手日報高校生フォトコンテスト等に挑戦し部員の入賞が続いている。令和3年度全国高校総文祭においては3年部員が全国最高賞の文部科学大臣を受賞した。
活動奨励賞 3件	・一関市立室根東小学校	【環境保全活動・水質検査活動】 社会貢献の態度や奉仕の精神を育てるため室根山自然愛護少年団の活動として、学校近くの大川の水質検査を永年実施。室根山の清掃活動は昭和57年から実施している。本県で令和5年に開催される全国植樹祭の「苗木のスクールステイ」事業に参加している。
	・奥州市立衣川中学校	【地域福祉活動】 平成13年度からの衣川録音ボランティア団体活動への参加を皮切りに、近隣施設に対するスノーバスターズや合唱訪問、大震災被災地訪問、コロナ禍では「思いやりしおり」、「思いやり川柳」、「叶結びのシトラスリボン」を町内外の公共施設などに配布した。
	・岩手県立気仙光陵支援学校高等部	【立根川美化活動】 地域貢献を目的に平成26年から学校周辺を流れる立根川河川敷の清掃美化活動を行っている。昨年は地元住民でつくる「立瀬川を愛する会」と地元企業「ダイナム」と共同で作業し、学校と地域が一つになり持続可能なせせらぎづくりに貢献している。
教育賞 1件	・岩手県中学校文化連盟	【第21回全国中学校総合文化祭岩手大会の開催】 岩手県で10年振り2度目の全国大会開催となった。新型コロナ感染の「岩手緊急事態宣言」が発出され開催が危ぶまれたが、観覧者の制限や会期の短縮など万全の感染対策を講じて全国の中学生の文化・芸術の発表の場を保障した。